

2. 出産および新生児ケアの臨床能力強化

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター（NCGM）

【現地の状況やニーズなどの背景情報】

国立国際医療研究センター（NCGM）と2012年に技術協力協定を締結した「国立母子保健センター」は、同国におけるトップレベルの産科病院（年間分娩数約7000例）、かつ研修・行政の中核機関である。NCGMは過去20年以上同センターを支援してきた。

【活動内容】

カンボジア母子保健センターではNCGM協力局が小児科・産婦人科と連携して、助産および新生児ケアの技術支援を行ってきた。本事業ではこれまでの成果に基づきより大きい効果を期待してNCGMスタッフの同センターへの派遣と本邦研修を行う。

【期待される成果や波及効果等】

カンボジア母子保健センターにおける新生児集中医療・重症新生児ケアの診療能力が向上する。新生児医療・ケアに関して、我が国の経験に基づく機器・薬剤などの適正使用への波及効果が期待される。

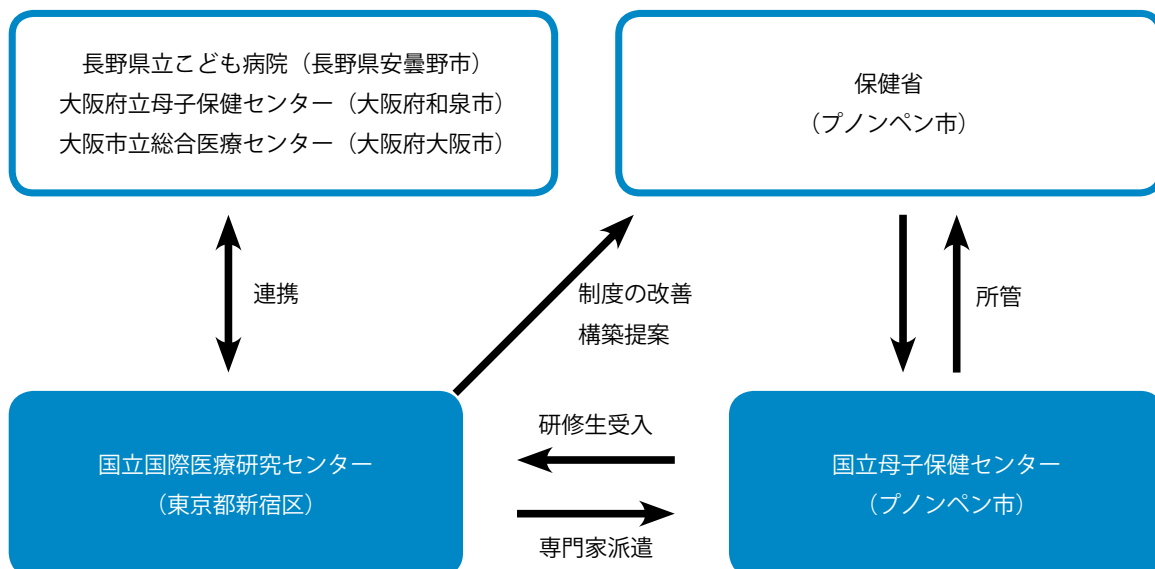
<研修実施結果>

9月、11月 研修生受入（各2名）

- ・日本の新生児医療ケアに関する現場研修（NCGM、長野県立こども病院、大阪府立母子保健センター、他）
- ・国際医療学会での研究発表

7月、10月、12月 専門家派遣（各2-3名）

- ・新生児診療支援
- ・重症新生児ケアに関するマニュアル作成のためのワークショップ開催



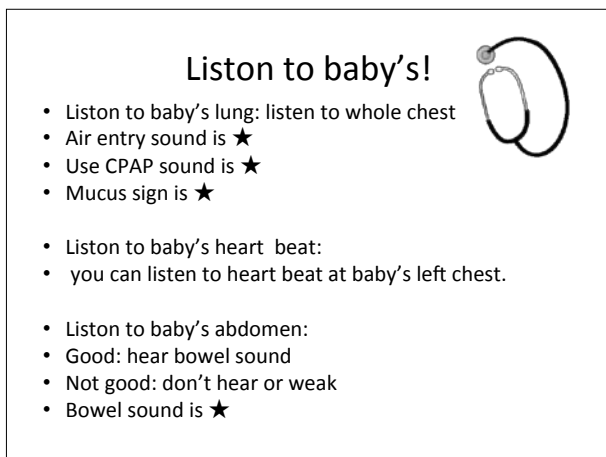
平成 28 年度医療技術等国際展開推進事業の助成をいただき、カンボジアのプノンペンにある国立母子保健センターで活動させていただきましたので報告させていただきます。前置きとしまして、この病院は長らく JICA と当センターの国際医療協力局との協力で活動されてきておりまして、我々小児科もこの 5 年程は研究費等を使わせていただきながら、この病院の新生児室と活動を共にしてきました。

今年度の概要としましては、特に新生児集中治療、新生児ケア、いわゆる日本の NICU の中の活動に重点を置いて活動させていただきました。具体的な人の動きとしては、当センターから NICU の看護師 2 名を 2 回、延べ 4 名を派遣して現地で指導に当たってもらいました。また、カンボジアからは新生児室の医師と看護師各 1 名のセットで計 4 名が日本に来て研修を受けていただきました。研修先は我々のセンター病院と長野県立子ども病院の NICU、大阪府立母子保健総合医療センター、大阪市立総合医療センターの NICU です。これらは日本の新生児医療のトップの病院ですので、実際にカンボジアの人たちに見ていただくことは有意義だったと思います。



Vital Signs advance!
2016/7/14
NCGM-NICU
Natsumi Sato

我々の看護師がレクチャーを行いました。朝の回診や通常業務の中で、他の看護師やドクターの横で声かけをしたり、質問に答えたりすることもあるのですが、纏まった知識を提供するためにこのようなスライドを作りました。

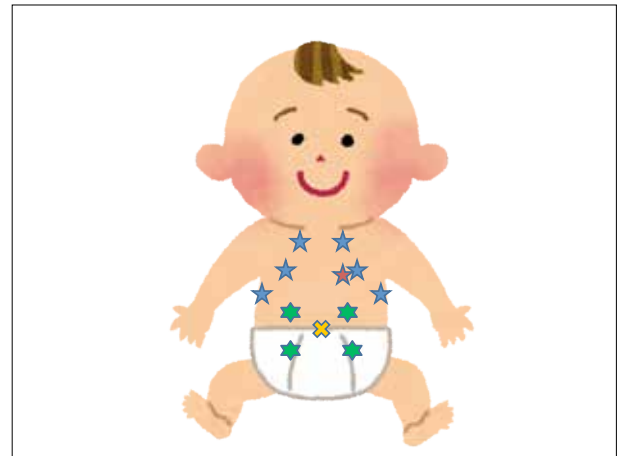


Liston to baby's!

- Liston to baby's lung: listen to whole chest
- Air entry sound is ★
- Use CPAP sound is ★
- Mucus sign is ★
- Liston to baby's heart beat:
- you can listen to heart beat at baby's left chest.
- Liston to baby's abdomen:
- Good: hear bowel sound
- Not good: don't hear or weak
- Bowel sound is ★

例えば「Vital Signs をきちんと取りましょう」という話では、必要なことを列挙して伝えています。カンボジアの

看護師や医師が全員英語を得意としているわけではないですし、我々もカンボジア語が得意ではありませんので、このような形でイラストを作って、大事なポイントを指し示しながら説明します。



このような簡単なイラストのスライド 1 枚では、上手く伝わらないような感じに見えますが、現地に行った看護師は異文化の中で何とか大事なポイントを伝えたいということで、何度も試行錯誤して相手に分かりやすいスライドを作っております。

★Nursing Manual Topics★

1. Hand washing	14. How to preserve breast milk
2. Taking vital sign (Respiratory Rate, H.R, Body Temperature...)	15. Care for convulsion cases
3. Risk factors of NCU Babies	16. Care for CPAP babies
4. Newborn resuscitation and Care Afterwards (include Aspiration)	17. Equipment preparation for sterilizing
5. Care for belly button infection	18. Support baby for stool discharge
6. Eye infection care	19. Changing diaper
7. Care for premature baby in incubator	20. Abdominal Care
8. Gastric tube insertion	21. Treating Incubator (Cleaning Procedure, Incubator setting)
9. Infusion (PIV)	22. Treating CPAP (Cleaning procedure, CPAP setting)
10. Intravenous injection	
11. Baby wiping	
12. Baby weighting	
13. Nutritional management (include Breast feeding, Tube feeding)	

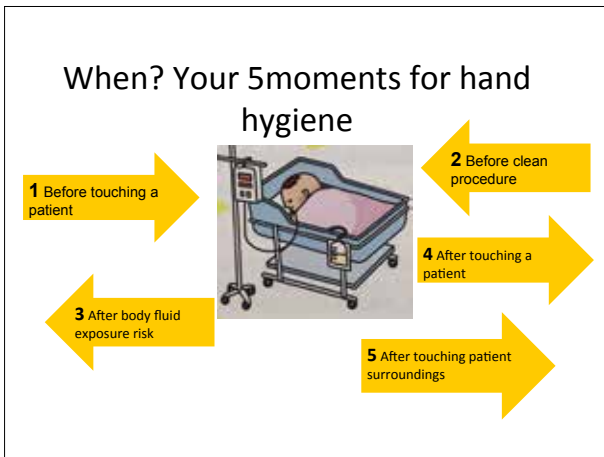
また、活動の 1 つとして一昨年度は医師のマニュアルを作成しましたが、去年は看護師のマニュアルを作りました。現地の看護師さんと協力して、スライドに示した目次の内容で、必要な項目をピックアップしました。



About Hand Hygiene



別の看護師は、手洗いの大事さを伝えたいということで、スライドのように手の汚いところを説明しました。手洗いと手指消毒の違いも看護師にとっては大事なことなので、これを伝えるためにこのようなスライドを作りました。



日本でも NICU の看護師同士が勉強する時に大事にしているポイントですが、赤ちゃんを中心に考えて、「触る時や触った後にきちんと手洗いと手指消毒をやりましょう」と説明していただきました。

Environmental arrangement

To keep the baby's environment cleaning

別の看護師は、環境整備について伝えました。



こちらの写真は、カンボジアの赤ちゃんのベッドの下なのですが、あまりにも煩雑になっています。「衛生上良くないので綺麗にしましょう」と説明しています。一見すると非常に細かいことなのですが、やはり新生児医療における看護業務としては大事な点ですので、丁寧に相手に分かりやすく説明していただきました。

平成28年度医療技術等国際展開推進事業
カンボジア国 出産及び新生児ケアの臨床能力強化研修

カンボジア国立母子保健センター
医師
Dr.Meng Leang
2016年9月16日

ここからは、カンボジアから来ていただいた医師と看護師の研修における成果をお話します。スライドは、発表したご本人によるものです。

・ 本研修で学びたいこと

—新生児蘇生

—呼吸窮迫症候群(RDS)臨床管理

—新生児痙攣臨床管理

ドクターは日本に来る前に、新生児蘇生や呼吸の管理、痙攣の管理等など、学びの目的をクリアにしています。



本人は写っていないのですが、我々の回診について回っていただいたり、看護師がどのように赤ちゃんの様子を観察しているかを見ていただいたりしています。



こちらは長野こども病院で、蘇生の前に必要な物品を用意しているところです。写真は超未熟児なのですが、その蘇生をしている現場を実際に目の当たりにしていただきます。

平成28年度医療技術等国際展開推進事業
カンボジア国 出産及び新生児ケアの臨床能力強化研修

カンボジア国立母子保健センター
看護師
Ms.Tim Chanvuthea
2016年9月16日

・ 本研修で学びたいこと

★ 手洗い/衛生

★ 物品準備

★ 新生児ケアと感染症新生児ケア

同じ時期に来ていただいた看護師さんの発表です。同じように手洗いや物品準備等、目的意識を持って参加しています。



写真左がカンボジアの看護師さんで、写真右が当センターのスタッフなのですが、実際に見ただけでなく、実地研修として自分で手を動かして取り組んでいただきました。



また、消毒の工夫等も学んでいただきました。

平成28年度 医療技術等国際展開推進事業
カンボジア国 出産及び新生児ケアの臨床能力強化研修



Ms. Phoeung Bopha

1. 研修目的

- I. 未熟児の脳内・胃内出血の予防
- II. 未熟児の管理
- III. カンガルーケア

こちらは第2陣のカンボジアのドクターが来た時の発表です。出血の予防や未熟児の管理、カンガルーケアについて学びたいという意識を持って来ていただきました。



写真は日本の教科書ではないのですが、日本の教科書も参照しながら消毒や赤ちゃんの安静を保つために必要なことなどを学んでいただいています。

平成28年度 医療技術等国際展開推進事業
カンボジア国 出産及び新生児ケアの臨床能力強化研修



Ms. Keang Sammady

1. 研修目的

- I. Incubatorに入っている未熟児のケア
- II. 新生児のお腹のケア
- III. カンガルーケア



Incubator

同時期に来た看護師さんですが、保育器の中の赤ちゃんのケアやお腹のケアなどの目的意識を持っていました。



こちらは、赤ちゃんを囲って安静を保つポジショニングなどを説明しているところです。写真下は大阪府立母子保健総合医療センターの様子ですが、実際の手技を NCGM だけでなく、大阪の施設でも見ていただき、日本全国で赤ちゃんに対して同じようにきめ細かなケアを実施していることを学んでいただきました。

指導していただいた皆様にお礼を申し上げます。

ご清聴ありがとうございます。



この時来ていただいた2人は、大阪滞在中に休日がありましたので京都に行かれました。写真のように楽しい時間も過ごしていただきました。



NMCHC / NCGM

Tele-conference
50th



Wiping Baby's Body
~add. Making NCU nursing care manual~

Date 13, February, 2017
10:00 in Cambodia
12:00 in Japan



Wiping Baby's Body

Presented by
Mrs. Tim Chanvuthea

最初に申し上げたように、当センターの国際医療協力局や小児科は、長らくカンボジアの国立母子保健センターに協力しており、Skypeを用いたテレカンファレンスも何回も繰り返し行ってきました。実は2月13日にも第50回のカンファレンスを行いました。これからお見せするスライドは、カンボジアの看護師さんが作りました。もちろんドクターの協力を得たと思いますが、テレカンファレンスで自らが発表していただいたスライドです。

お風呂に入れるのが難しい赤ちゃんは体を拭いて清潔を保ちますが、研修を受けた看護師さんが自らスライドを作って発表して下さいました。

Preparing material and hand washing



Take temperature, examine baby's condition and record



手洗いやから始まって赤ちゃんのバイタルをきちんと計ったり、必要な物を揃えたり、赤ちゃんの体を実際に拭く時に気をつけなければならないポイントを自分たちで指し示したりしています。周りの環境も綺麗にするところまで説明していただいています。

我々としてはご本人たちが学んだ成果を我々に対して発表して下さることに非常に驚きました。カンボジアの方達は恥ずかしがり屋が多いのか、なかなか自分達が行っている様子を見せないからです。本当かどうかは分かりませんが、何かあった時に自分達が非難されるのが怖いから見せないという話も聞いたことがあります。今回このように自分達がきちんと行っていることを発表していただいたのは驚きであり、とても嬉しかったことです。

Parent is happy with receiving good care



最後のスライドですが、赤ちゃんに対する良いケアを
すると、家族もハッピーになることを彼女達に分かっていた
だいたことが、我々としてはこの活動で1番の成果である
と思いました。

以上です。ありがとうございました。